

## 公益社団法人石油学会 平成 30 年度 事業計画

### 【公益目的事業】

石油，天然ガス，石油化学工業及びこれらに係わる資源，エネルギー，環境に関する分野の学術並びに技術の調査・研究を推進し，これらの成果を会誌，講演会，ホームページ等で公開し，石油及び周辺エネルギーに関する知見を広める。さらに研究発表会・討論会，資格付与，研究助成及び表彰事業により，研究者・技術者を奨励して研究・技術の向上を図り，本分野における学術・科学技術の一層の発展とエネルギーの安定供給を目指す事業を行う。

### 1. 調査・研究事業の推進

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため，学会本部内の7つの部会（資源，精製，石油化学，製品，装置，経営情報，新エネルギー）をはじめ，支部，JPIJS（若手会），委員会にて調査・研究を行う。

#### 1-1 調査・研究

##### 1-1-1 部会活動

###### (1) 製品部会

- 1) ガソリン分科会で，第41回CFRオクタン価照合試験を実施する。
- 2) アスファルト分科会で，アスファルトの成分分析方法について検討を行う。
- 3) 絶縁油分科会で，以下の活動を行う。
  - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報を共有する。
  - b) ストレイガスの発生要因について調査・検討を行う。
  - c) 電気絶縁油のJIS改正に向けた検討を行う。
  - d) 電気絶縁油ハンドブックの追補作成に向けた検討を行う。
  - e) 絶縁油に関する調査・研究を行う。
- 4) 試験分析分科会で，以下の活動を行う。
  - a) 石油製品中のNa，K分の分析方法について調査・検討を行う。
  - b) ガソリンの全成分試験方法について調査・検討を行う。

###### (2) 装置部会

分科会，専門委員会において担当の分野に関連した調査・研究を行う。

###### (3) 経営情報部会

ワーキンググループ (1) 「石油・エネルギー産業史」及び (2) 「石油・石油化学プラントにおけるAI技術とその活用方法の調査・研究」を設置し，調査・研究を行う。

###### (4) 新エネルギー部会

次世代のバイオ燃料やCO<sub>2</sub>の有効利用技術について，調査・研究を実施する。

##### 1-1-2 受託，参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する「プロセスコンフィグレーション評価モデルの作成」及び「革新的石油精製技術シーズ発掘事業」に参加する。
- (2) (一財)JCCP国際石油・ガス協力機関が実施する産油・産ガス国事業環境整備等事業のうち，①テーマ別合同シンポジウム事業，②産油・産ガス国研究者受入事業に参加する。
- (3) (一財)日本規格協会が実施する「日本工業規格 (JIS) 原案共同作成事業」に参加する。

#### 1-2 成果公開・普及

前述の部会，委員会活動や受託，参加事業で得られた調査・研究の成果，ならびに創立以来

蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開・普及させることにより、国民全体が石油及び周辺エネルギーの現状に対する理解を深め、その活用について関心を持つことを目指す。また、これらの分野の研究者・技術者に対しては、最新情報の共有とともに、人的交流を促すことで技術分野のすそ野の拡大を図る。本会による最新の調査・研究成果の公開・普及は、学術の一層の振興に加え、本分野に携わる技術者の育成にもつながり、製油所や化学設備の安全・安定操業、ひいてはエネルギーと石油関連製品の安定供給に寄与するものである。

#### 1-2-1 会誌等（一般誌、ホームページ(HP)）

- (1) 本会の様々な調査・研究活動の内容ならびに石油及び周辺エネルギーに関する最新事情を紹介する「ペトロテック」（一般誌）を、月刊で12回発行する。
- (2) 本会HPを通して、本会活動の紹介や石油及び周辺エネルギーに関する様々な情報発信を行う。また、前年度同様、大会注目発表や学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

#### 1-2-2 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

- (1) 教育委員会において、移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き実施し、大学を中心に年間65回程度の講義を開催する。また、4大学においてリレー講座を開催する。

##### (2) 支部講演会等

###### [北海道支部]

- 1) 2018年7月に日本化学会北海道支部と夏季研究発表会（北見）を共催する。
- 2) 2018年10月に第11回実践的石油学講習（苫小牧）を企画し、実施する。
- 3) 2018年12月に触媒学会札幌講演会（札幌）を共催する。
- 4) 2019年1月に第18回北海道支部講演会を企画し、実施する。
- 5) 2019年1月に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会（札幌）を共催する。

###### [東北支部]

- 1) 2018年に第34回東北支部講演会を企画し、実施する。
- 2) 2018年に製油所見学会（仙台）を企画し、実施する。
- 3) エネルギー問題に関する市民向け講演会を企画し、実施する。
- 4) 触媒学会東北地区講演会を共催する。

###### [東海支部]

- 1) 2018年9月に第7回東海支部講演会（名古屋）を企画し、実施する。
- 2) 東海地区の石油精製・石油化学会社の4製油所・事業所にて大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。また2018年9月に報告会を企画し、実施する。
- 3) 2018年秋に学生を対象にした企業見学会（四日市）を企画し、実施する。

###### [関西支部]

- 1) 2018年5月に研究機関・企業見学会を企画し、実施する。
- 2) 2018年9月に第26回学生企業見学会（堺）を企画し、実施する。
- 3) 2018年10月に第25回関西支部セミナー（大阪）を日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 2018年12月に第27回関西支部研究発表会（吹田）を日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 5) 2018年8月にJPIJS関西地区とJPIJS関西地区セミナー（大阪）を共催する。

###### [中国・四国支部]

- 1) 2018年11月第36回中国・四国支部講演会に企画し、実施する。
- 2) 2019年1月に第23回中国・四国支部技術交流会（麻里布）を企画し、実施する。
- 3) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

## [九州・沖縄支部]

- 1) 2018年6月に久米島ワークショップ（第40回九州・沖縄支部講演会）を化学工学会九州支部、日本海水学会西日本支部と共催する。
- 2) 2018年10月に第41回九州・沖縄支部講演会（北九州）を企画し、実施する。

## (3) JPIJS講演会

- 1) 2018年5月22日(火)に第23回JPIJS若手研究者のためのポスターセッションを開催する。
- 2) 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会において依頼講演及び国際セッションを企画し、実施する。
- 3) 精製部会プロセス分科会と協力のうえ討論会を開催する。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

## [東日本地区]

- ・2018年7月～8月に第55回オーロラセミナーを触媒学会と共催する。
- ・2018年10月～2019年2月に講演会を開催する。
- ・2018年秋に企業見学会を開催する。

## [西日本地区]

- ・2018年8月下旬にコロキウム2018を日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催する。
- ・2018年7月下旬に第27回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催する。
- ・2018年10月～2019年2月に講演会を開催する。

- 5) ペトロテックの「JPIJSだより」及びHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

## (4) 部会講演会

## [資源部会]

- 1) 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 資源講演会を企画し、実施する。

## [精製部会]

- 1) 2018年10月にJPI Petroleum Refining Conferenceを企画し、実施する。
- 2) 2019年1月または2月に第44回精製パネル討論会を企画し、実施する。

## [石油化学部会]

- 1) 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 2018年12月に第26回触媒シンポジウムを企画し、実施する。

## [製品部会]

- 1) 2018年11月または12月に2018石油製品討論会を企画し、実施する。
- 2) 絶縁油分科会では、2018年6月1日(金)に第38回絶縁油分科会研究発表会を企画し、実施する。

## [装置部会]

- 1) 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 回転機分科会では、2018年10月に第18回回転機研究討論会を企画し、実施する。
- 3) 配管分科会では、2018年11月に第15回配管技術セミナーを企画し、実施する。
- 4) 設備保全分科会では、2018年12月に第49回装置研究討論会を企画し、実施する。
- 5) 計装分科会では、2019年3月に第35回計装研究討論会を企画し、実施する。
- 6) 電気分科会では、2019年3月に第19回電気研究討論会を企画し、実施する。
- 7) 設備維持規格委員会では、2019年3月に屋外タンク維持規格セミナーを企画し、実施する。

## [経営情報部会]

- 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会に協力する。

## [新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー一部会講演会を企画し、実施する。
- 2) 2018年10月17日(水)、18日(木)に開催する第48回石油・石油化学討論会に協力する。

### 1-2-3 規格の制定・普及

[装置部会]

#### (1) 装置委員会

- 1) 機器分科会では、機器WGによる機器分科会関係規格の見直し及び技術資料の作成を、前年度に引き続き実施する。
- 2) 配管分科会では、フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会による関係規格見直し等の活動を、前年度に引き続き実施する。
- 3) 計装分科会では、計装技術専門委員会の活動として計装分科会関係規格の見直し、アンケート調査等による技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。
- 4) 電気分科会では、電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、設備維持規格改訂作業への支援を行う。

#### (2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために制定した設備維持規格について、追補の発行と定期的な改訂作業を実施する。

### 1-2-4 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する認定試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与する。また、該当する規格内容全般に関する一般講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催する。さらに、設備維持管理士制度の認知を広げ、制度の更なる普及を目的に、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

- (1) 2019年1月に東京で、設備維持規格一般講習会（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。配管・設備については、京都でも実施する。
- (2) 2019年2月に東京及び京都で、設備維持管理士認定試験（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。
- (3) 2019年1月に東京で、設備維持管理士更新講習会（回転機、電気設備、計装設備）を実施する。
- (4) 2019年2月に東京及び京都で、設備維持管理士更新講習会（配管・設備）を実施する。
- (5) 2018年10月に開催する秋季大会（第48回石油・石油化学討論会）において、設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行う。

## 2. 研究・技術開発の支援

### 2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者、技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催する。

- (1) 2018年5月23日(水)に東京にて第67回研究発表会を開催する。
- (2) 2018年10月17日(水)～18日(木)に東京にて創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）を開催する。
- (3) 韓国工業化学会の研究発表会に参加し、研究成果の発表を行う。
- (4) Journal of the Japan Petroleum Institute（論文誌）を隔月刊で6回発行する。Vol. 61 No. 5（11月号）では鳥取大会特集号の刊行を予定している。

### 2-2 研究助成

石油及びその周辺エネルギー分野における研究開発の一層の推進を図るため、本分野に携わる若手研究者の研究奨励として、研究助成金交付事業を実施する。

前年度に続き若手研究者への助成公募を行い、委員会において適格者を選考し、研究助成金を交付する。

### 2-3 表彰

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、本分野で顕著な業績をあげた者または組織を表彰する。

- (1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
- (2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。

## 【収益事業等】

### 1. 受託事業

「最新ガソリン乗用車の制御技術並びに燃料影響調査」及び「ディーゼル車の燃料供給システム調査」を(株)石油産業技術研究所から受託し、本会製品部会内に設置した委員会においてそれぞれ調査を行い、報告書を作成する。本報告書の内容に関しては、委託元との契約により公表はされていない。

### 2. 図書及び標準試料認定・販売事業

#### 2-1 図書販売

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に、専門書、辞典、入門書を適宜、企画し刊行する。2018年度は「新版 石油化学プロセス」の改訂刊行を行う。また、販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料または印税収入を得る。

「新版 石油精製プロセス」(2014)、「石油化学プロセス」(2001)、「石油辞典」(2005)、「石油がわかれば世界が読める」(2008)

#### 2-2 標準試料認定・販売

標準試料委員会において石油関連試験の精度維持向上に必要な標準物質を作成し、認定する。

- (1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA(蛍光指示薬吸着法)用、軽油硫黄分、標準ガソリン、引火点、及び分離確認用の認証事業を行い、標準物質を委託販売する。
- (2) 分析技術の進展や需要を見ながら、新規認証及び認証中止の検討を行う。
- (3) 分析機器メーカーをはじめとする関連企業および関連団体との情報交換を行う。

### 3. 溶接士の認定事業

溶接士検定委員会において技量検定基準(JPI-7S-31規格)の見直し、及び全国規模での溶接関連情報の交換を実施する。また、溶接功労賞の表彰を行う。石油学会溶接士認定証の発行業務は引き続き、(一社)日本溶接協会に委託する。

### 4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
- (2) 部会及び支部にて適宜、会員限定の勉強会、講演会を開催する。
- (3) 年会、秋季大会及び講演会の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催する。
- (4) 年会、秋季大会において会員企業のPR展示を企画し、実施する。
- (5) 維持会員交流会を開催する。

## 【法人管理】

- (1) 2018年度も前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除する。前年度と同様、企業の新入社員を対象とした勧誘活動を行う。また、普通会员入会者を対象としたキャンペーン（初年度会費半額）など、会員の増強活動を積極的に推進する。
- (2) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を適宜開催する。通常総会（1回）、理事会（5回）、運営会議（5回）、顧問会（1回）、役員等候補者選定委員会（適宜）、財務委員会（適宜）、職員人事委員会（適宜）、事業活性化委員会（適宜）ほか。
- (3) 他学協会その他関連団体からの事業の共催・協賛などの要請に適宜、協力する。

## 【講演会， 討論会， 研究発表会ならびに見学会等の事業計画】

月	日	曜	名 称	開 催 地
2018年				
5	22	火	第59回通常総会，第61回年会－特別講演，受賞講演，JPIJSポスターセッション，懇親会	東京 タワーホール船堀
	23	水	依頼講演，受賞講演，第67回研究発表会	
6	1	金	第38回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都テルサ
10	—	—	第18回 回転機研究討論会	東京
10	—	—	29 <sup>th</sup> JPI Petroleum Refining Conference	東京
10	—	—	新エネルギー部会講演会	東京
10	17 18	水 木	創立60周年記念大会－特別講演，依頼講演，懇親会，第48回石油・石油化学討論会	東京 タワーホール船堀
11	—	—	第28回日本－サウジアラビア合同シンポジウム	サウジアラビア
11	—	—	第15回配管技術セミナー	東京
12	—	—	2018石油製品討論会	東京
12	—	—	第49回装置研究討論会	東京
12	—	—	第26回触媒シンポジウム	東京
2019年				
1	—	—	設備維持規格講習会（配管・設備）	東京，京都
1	—	—	設備維持規格講習会（回転機，電気設備，計装設備）	東京
1	—	—	設備維持管理士更新講習会（回転機，電気設備，計装設備）	東京
2	—	—	設備維持管理士認定試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京，京都
2	—	—	第44回精製パネル討論会	東京
2	—	—	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京，京都
3	—	—	屋外タンク維持規格セミナー	東京

以 上